

## 第4回南砺市立中学校部活動のあり方検討委員会会議録（要点記録）

**【日時】** 令和3年10月25日（月）開会：午後7時00分 閉会：午後8時45分

**【場所】** 南砺市役所 別館3階 大ホール

**【出席委員】** 13人

堀田 朋基 委員長	舘 英二 副委員長	藤原 洋 委員
梨谷 一男 委員	齊藤 哲也 委員	林 裕一 委員
近川 利行 委員	高瀬 まり 委員	砂田 英夫 委員
二野井 朋 委員	井上 明世 委員	山田 剛 委員
大河原 晴子 委員		

**【欠席委員】** 1人

**【事務局員】**

教 育 長 松本 謙一	教 育 部 長 村上 紀道
教 育 部 次 長 鵜野 幸男	教 育 総 務 課 長 氏家 智伸
生涯学習スポーツ課長	
教 育 総 務 課 副 参 事 吉尾 徹	生涯学習スポーツ課 主幹(スポーツ係長) 池田 貴志
教 育 総 務 課 主 幹 川口 雅也	教 育 総 務 課 主 幹 (学務係長) 野村 大輔
生涯学習スポーツ課 副 主 幹 西田 誠	

**【傍聴人数】** 0人

**【協議事項等】**

### 1. 開会 委員長あいさつ

### 2. 報告事項

(1) 全体説明会、地域説明会等の参加者からの意見等について

### 3. 協議事項

(1) 地域移行、拠点校化に向けた方法・手順等の検討について

(2) その他

### 4. 次回協議会の日程

### 5. 閉会 副委員長あいさつ

## **【会議の概要】**

### **○開会**

**教育総務課長** ただいまから、第4回南砺市立中学校部活動のあり方検討委員会を開会いたします。

#### **1. 開会 委員長あいさつ**

**委員長** 昨年度は、3回の委員会を開催し、本委員会では、「拠点校化で進める」ことを全会一致で決めました。その後、説明会や動画作成をし、指導者団体との協議等、機会をみて説明をされてきたと考えています。当初の予定通りには、スムーズにいかないと思いますが、これだけの説明を聞いて、実際の現場の方々がようやく自分の身になって考えていただき、本腰を入れて自分の立場として考えられるようになったと思っています。本日の資料については、今日の会議で決定するというのではなく、皆様の忌憚のないご意見をいただきたいので、よろしくお願いします。

#### **2. 報告事項**

##### **(1) 全体説明会、地域説明会等の参加者からの意見等について**

**委員長** それでは、まず報告事項として、前回、3月の委員会後に開催された説明会等の内容について報告をしてください。

#### **事務局 【資料1の説明】**

**委員長** 今の説明について質問・意見等ありませんか。

**委員E** 情報提供として、富山県体育協会のスポーツ少年団活性化事業の中で、「学校運動部活動との連携にかかわる事業」「総合型地域スポーツクラブとの連携にかかわる事業」があることを聞き、中学校の運動部活動と総合型地域スポーツクラブの連携を推進しています。中学校部活動の地域移行のモデル的な事業になればよいと考え実施しています。

**事務局** 情報提供ありがとうございます。事業の参考にさせていただきます。

#### **3. 協議事項**

##### **(1) 地域移行、拠点校化に向けた方法・手順等の検討について**

**委員長** 事務局から説明をしてください。

#### **事務局 【資料2の説明】**

**委員長** 今の説明について何かご意見ありませんか。

**委員B** 「地域部活動」は「拠点校化」を意識したものとして捉えればよいのか、現在の部活動を地域移行するということなのか整理したいです。

**事務局** 「拠点校化」を考えています。「地域移行」による指導が可能な種目について「地域部活動」を進めていきながら、指導者団体には、どの地域で指導が可能かを協議していただき、並行して「拠点校化」も進めていくということで考えています。

**委員C** これまでも夜間の練習をやっている種目があります。「社会体育」と呼んでいますが、これまで学校が個人の指導者に指導の依頼をしていたものが、協会が責任をもって指導者を派遣するという、これまでボランティアで指導していただいていたものが、指導に対する手当が支給されるということが違いだと認識しています。

**事務局** そのように指導者団体が運営していただくということです。

**委員E** 上部団体から依頼があったアンケートの内容は不満です。指導者で具体的な協議をしていかないと「拠点校化」が遅れていくと感じます。遅れるということは、かわいそうな子供が増えていくことにつながると考えています。

**事務局** 何度か説明会をしましたが、各団体の皆さんの理解が進んでいないということから、慎重に進めようとしておられる結果だと考えています。種目団体や指導者によって温度差があることから、慎重に進めていただいていると捉えています。ただ、どれだけ時間をかけてもよいということではないので、各団体と相談しながら次の段階に進ませていただきたいと考えています。

**副委員長** 事務局からあったとおり、慎重に各団体の意見を聞いているところです。事務局からのアンケートの原案をもらっていますが、ワンクッションおいたということで理解していただきたいと思います。

**委員長** 早く進めてほしいという意見だったかと思います。

**委員H** 学校部活動を16:45に終了すると、小学校スクールバスの運行との関係で中学校のスクールバス運行に支障がでること、18:00までの地域部活動に参加したい生徒が、スクールバスで下校するために、地域部活動に参加できない生徒がでる可能性があること、地域部活動が夜間になる場合の活動時間までの待ち場所はどうか気になります。

**事務局** 大切な課題を提案していただいたので、次回までに整理して提案させていただきます。

**委員長** 実際進めるときに出てくる具体的な課題なので検討をお願いしたいと思います。

**委員A** モデル的に進めていくことはすごくよいと思います。検討委員会として「拠点校化」を進めることで協議してきましたが、地域づくり協議会や議会、種目団体に働きかけて理解してもらう必要があると感じています。

**事務局** 地域づくり協議会では、「拠点校化」を進めて後戻りできなくなったら、不利益を被る生徒が出てくるので、もう少し慎重に進めた方がよいということです。地域の

方へは、決定する前に説明する機会を設ける必要があると考えています。

議会では、「将来の教育あり方検討特別委員会」の次回会議で、議員一人一人のご意見を聞くことになっております。事務局は、いろいろな方に丁寧に説明していく立場であると考えています。

**委員 I** ほぼ1年経っていますが、各論が全く決まっておらず、全然進んでいない気がします。子供たちがかわいそうなので、少しでも早く決めていただきたいと思います。大人の都合もあるかもしれませんが、子供たちの目線で考えてほしいです。

**委員 J** 「拠点校化」についてなかなか進まないの、「地域移行」を中心に進めることはよいと思います。「地域部活動」になったときに、指導者が窓口を担えるかどうか、やってみないと分からないと思います。

**委員 F** 学校の部活動だけで精一杯の生徒もおり、「地域部活動」に参加しない生徒がいてもよいのか、また、Bパターンの場合、いったん家に帰れず、朝から夕飯を弁当でもってきているケースがあり、生徒の生活が改善できないかと感じています。

**事務局** いろいろな参加の仕方が可能で、ケースによってそれぞれ違う課題が出てくると思うので、一つ一つ対策が必要だと思います。学校の部活動だけの参加も可能です。

**委員 H** Aパターン、Bパターン、Cパターンのケースはいろいろあると思うが、活動日は決まるのでしょうか。

**事務局** 活動計画を事前に提示する工夫など、対策が必要だと思います。

**委員長** 活動パターンは事務局で暫定的に示しており、ケースバイケースだが、基本としてはAパターンであるということですね。

**委員 J** Aパターンでの活動場所の使用料は発生するのですか。

**事務局** 部活動として使用ができる体制にしたいと思っておりますが、課題を整理し、対応策を検討していく必要があります。

活動に必要な経費については、予算化が必要で、今後話が進んでいく中で、形にしていきたいと考えています。

**委員 K** そもそも部活動のねらいが達成できるように改革を行おうとしているが、BパターンやCパターンの活動で、ねらいを達成できる集団や活動になるのかが疑問で、Aパターンの時間で活動できるように指導者の確保をお願いしたいです。

**事務局** Aパターンが基本ですが、指導者団体がBパターンやCパターンでしかできないということになれば、認めて指導をしていただくものと考えています。

**委員 C** 活動時間が分断されることを改善するために、現在、特色ある教育課程の見直しの中で、例えば、部活動の開始時間を早めることができないかなど、学校としてどのようなことができるか考えていきたいと思っています。

南砺市PTA連絡協議会ではどのような話が出ているのか知りたいです。

**委員 H** 「拠点校化」ではなく、学校統合の話も出ています。個人的なそれぞれ考えは

ありますが、南砺市PTA連絡協議会としてはまとまっていません。

**委員C** 学校として保護者の方に責任をもって伝えないといけないと思います。

**委員長** 南砺市PTA連絡協議会として意見の統一はされていないという状況だということですね。

**委員A** 「地域移行」については可能なところから進めればよいと思いますが、「拠点校化」に対するイメージがいろいろあると思います。「拠点校化」の意味は、学校ごとに生徒数に合わせて部活動を整理すると、南砺市の学校に設置できなくなる種目が出るので、それを防ぐために指導者団体が俯瞰して、どこかに必ず1つは残すということなのだが、その部分が理解されていないと感じます。どういう言葉がふさわしいかは分からないが、「拠点校化」という言葉を変えてもよいのかと思います。生徒数の減少に合わせた部活動の整理方法について、将来的な視点も踏まえて説明できればよいと思います。

**委員J** 「拠点部活動を1種目につき1～2とする」とあるが、部員数が多くても無理矢理整理するということですか。

**事務局** 指導できる指導者がいらっしゃるかどうかが大切になるので、指導者団体の判断によるところが大きいと考えています。

**委員J** 指導者が確保できれば3ということもあるということですね。

**委員A** かつ、ある程度の部員数が確保できることも条件になると思います。

**委員C** 教員の「兼職兼業」について、どういう人が従事するのかということ定義づけして明示する必要があると思います。また、兼職兼業で従事する場合の時間外勤務時間の基準についても、明確にしておく必要があると思います。

**委員K** 「特認就学」については来年度からでもできるようにしてほしいです。現時点で、どの学校にどの部活動が残るかが決まっていないので、就学指定校を変更できないと考えている人もいます。どの学校にどの部活動が設置されるかが早く決まるのであれば、「特認就学」も早く進めてほしいです。

**委員E** 賛成です。できることは、できるだけ早くして、自分が選んだ道をしっかり進めるようにしてあげるべきだと思います。

**委員I** どの地域でどれだけ指導者がいるかの具体的な調査を指導者団体に対して独自に進めて、現状を把握すればよいと思います。

**委員C** 部活動を残すところは強化すると捉えられないよう配慮が必要だと思います。

**委員D** 総合型地域スポーツクラブのスタッフで専門性をもった者や部活動指導員を兼務している者もいるので、「地域移行」の際にどのような形で協力できるか今後考えていきたいです。

**委員長** 南砺市PTA連絡協議会にはどのように伝わっているのですか。

**委員J** あまり話が出ていないのが現状です。

**委員 H** 4月の全体説明会では、もう少し具体的な話が聞けると期待していたが、不満に感じている人もいました。

**委員 J** 地域によって温度差があります。どちらかという、自ら情報を得ようとしている方は少ないと感じます。

**委員 F** 移行期が難しいと思います。今の6年生で拠点校にならなかった学校の部を選択したときに、後輩がいないことを知らされずに入部することになります。

**委員 A** 最低限、「拠点校化」でどの部が残るということが分かる必要があると思います。

#### **4. 次回協議会の日程**

**教育総務課長** 次回の委員会については、令和3年12月10日を予定しております。

#### **5. 閉会 副委員長あいさつ**

**副委員長** 本日は有意義な委員会となったと思います。各委員の思い、立場からの考えがたくさん出ました。ある程度委員会でまとめて、それに対していろいろな方から意見をいただくことが大切だと思います。

また、次回も活発な協議にしたいと考えています。今日は大変ご苦勞様でした。

**教育総務課長** 以上で本日の会議を終了いたします。ありがとうございました。